

2018年7月3日

北里大学病院  
病院長 岩村 正嗣

## 患者様の個人情報記録された USB メモリの紛失について（速報）

今般、北里大学病院において、患者様の個人情報記録されている可能性の高い USB メモリを病院内で紛失いたしました。個人情報の保護に関しましては、これまで職員に対して情報の取り扱いについて注意喚起を行って参りましたが、このような事態を招いたことで、患者様、その他関係各位の皆様にご多大なご心配とご迷惑をおかけすることになり心よりお詫び申し上げます。

本件につきましては、当院の「患者様の個人情報保護に関する基本方針」に基づき、下記のとおりその内容を公表するとともに、該当する患者様への対応を図ってまいります。また、早急に病院内における個人情報の管理徹底を見直し、適切な再発防止策を実施いたします。

### 記

#### 1. 紛失した USB メモリに記録されていた可能性の高い情報

2014年8月1日から2016年7月31日までの間に、当院脳神経外科の IVR センターで治療を受けられた約 50 名の患者様の個人情報（氏名、当院患者番号、疾患名、治療名、治療日時）となっております。なお、患者様の住所・電話番号は含まれておりません。

※ USB メモリおよび記録された可能性の高いファイルに、パスワード等はかけられておりませんでした。

#### 2. USB メモリ紛失の経緯

##### ・2018年6月18日

当該担当者が IVR センター内のコンピューターにおいて、個人所有 USB メモリを使用しました。（この時は、患者様の情報に関する作業は行わなかった。）帰宅途中、持ち帰る予定でいた USB メモリが無いことに気付きましたが、職場に忘れたと思い、その日はそのまま帰宅しました。

##### ・2018年6月19日

当該担当者は、当該メモリの所在が不明であることに気づき、IVR センター内を当該担当者、及びスタッフにて検索しましたが、発見には至りませんでした。また、USB メモリを自宅に持ち帰った可能性もあったため、自宅も捜しましたが、発見には至りませんでした。

##### ・2018年6月20日

当該担当者は、IVR センターの看護師長に報告を行い、師長より USB メモリの検索を継続するよう指示され引き続き検索しておりました。

##### ・2018年6月28日～2018年7月3日

当該担当者が自宅のパソコンで作業するため画面を開いたところ、以前、学会使用を目的に活用した、上記（項1.）と推測されるデータ使用履歴が発見されたため、紛失した USB メモリにも同様の内容が入っている可能性があるかと判断し、7月2日に USB メモリの紛失を病院長に報告し、7月3日に遺失届出書を神奈川県相模原南警察署に提出しました。

### 3. 情報漏洩の可能性

7月3日現在、本USBメモリに記録された患者様の個人情報第三者に流出したという情報や、不正に利用されたという事実は確認されておりません。

### 4. 該当する患者様への対応

上記1の情報に該当する全ての患者様に、文書による説明と謝罪のお知らせを順次郵送いたします。また、下記6のとおり患者様からのお問い合わせ窓口を設置いたしました。

### 5. 再発防止策

北里大学病院として、これまでUSBメモリを用いた個人情報の管理については、2017年2月に各職場に対し、セキュリティ機能付きUSBメモリを支給し保管管理者の選任を行い、情報を管理する体制を取っています。

しかし、2016年に入力されたデータに関わる今回の報告を受け、2017年2月の管理体制実施以前にUSBメモリ記録した情報についても管理体制を強化し、再発防止に努めることを周知徹底いたします。

### 6. 本件に関する患者様からのお問い合わせ先

- ・お問い合わせ窓口

北里大学病院 事務部総務課

Tel 042-778-8132, 担当 永田、小林（土日祝日を除く平日：月～金曜日 8:30～17:00）

※IVRとは、《interventional radiology》X線CT・MRI・超音波診断法などの画像診断機器を介し、低侵襲で処置・治療すること。

以 上